



2024年11月14日

各位

会社名 株式会社 QD レーザ
代表者名 代表取締役社長 長尾 収
(コード番号: 6613 東証グロース)
問合せ先 執行役員経営企画室長 武政 敬三
(TEL. 044-333-3338)

2025年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、2024年5月14日に公表しました2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期の業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,245	△589	△592	△596	△14.29
今回修正予想(B)	1,155	△605	△592	△596	△14.29
増減額(B-A)	△90	△15	—	—	
増減率(%)	△7.3	△2.6	—	—	
(参考)前期実績 (2024年3月期)	1,247	△604	△600	△642	△15.44

2. 修正の理由

本日の取締役会において承認されました2027年3月期までの中期経営計画により、当社の事業のひとつである視覚情報デバイス事業において重心の置き方を変更し、スマートグラス及びビジョンヘルスケア関連を中心に見込んでいたNRE(開発受託)の受注を今後基本的には行わないこととし、また、眼の健康チェックツールであるRETISSA MEOCHECK 事業において当面は眼の健康チェックサービスの拡販に注力する方針としたことにより、当期中のツール販売の受注は見込めないものと判断しました。それにとともに、RETISSA MEOCHECKの生産のための部材等についての在庫の評価減も財務の健全性を保つために必要であると判断しました。これらを主な理由として、業績予想を修正いたします。

一方、レーザデバイス事業はDFBレーザ、小型可視レーザを中心に、当初計画を上回るペースで堅調に推移しております。

当社といたしましては、他社連携等を含めた事業の最適化を進めるとともに、レーザデバイス新製品の市場投入等で、当社独自の製品に対するニーズが大きい市場を積極的に開拓し、中期経営計画に基づき、黒字化と成長可能性の両立を目指した活動を継続してまいります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上